

令和 3 年度 協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～ 事業実施レポート



目次：

- (1) 国際理解って？
- (2) どんな事業
- (3) 小学校で
- (4) 中学校で
- (5) 事業実績
- (6) 先生方の声



(1) 国際理解って？

私たちの生活を振り返ると、海外との関係なしでは成り立たないことばかりです。食品や燃料はもちろん、衣類・家電製品など、それらの原料や労働力は世界の国々・人々に支えられています。また、鹿児島に住む外国人の方も増えています。外国の人々やその国の現状を知るとは、私たち自身を知ることでもあります。

国際理解とは、私たちの生活と世界がどのようにつながっているのかを知り、その中で世界が抱える課題を自分事として共有することではないでしょうか。

実際に外国で生活していた日本人の話や、鹿児島で生活している外国人の話を聞いて、一緒に世界のこと、日本のことを考えてみましょう。

協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～

(2) どんな事業？

この事業は、鹿児島県青年海外協力隊を支援する会、青年海外協力隊鹿児島県 OB 会と（公財）鹿児島県国際交流協会の3団体で実施しており、県内小・中学校の希望に応じて年間約40校の小・中学校に、青年海外協力隊として活動していた帰国隊員や県内在住の留学生などの外国人の方を講師として派遣しています。派遣先の学校では、協力隊 OB による海外での活動体験の話や外国人の方による母国の紹介や交流により、国際協力・国際理解を学ぶことを目的にしています。

講師

帰国した青年海外協力隊員。学校の希望や実施内容によって鹿児島県に在住する留学生等も派遣します。

講師にはこんな方がいます！



(派遣国：パプアニューギニア)



(ベトナム出身 鹿児島大学在籍)



(派遣国：ラオス)



(中国出身 鹿屋体育大学在籍)

授業の内容

- 協力隊OB – 国際協力・ボランティア・途上国の人々のくらしや文化（民族衣装，料理，民族楽器など）の紹介，青年海外協力隊の体験談，参加型のワークショップ（ゲームなど）
- 留学生等 – 母国のくらしや文化（民族衣装，料理，民族楽器など）の紹介，参加型のワークショップ（ゲームなど）を日本語で行います。



協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～



(3) 小学校で…

知らない国の、聞いたこともない嘘のような本当の話。

インターネットの普及で、今日ではより簡単に、世界中の様々な情報が得られるようになりました。

しかし、多感な時期にある小学生にとって、教科書やテレビからの情報ではなく、直接、海外協力隊経験者の体験談を聞いたり、留学生と交流したりすることが与える影響は大きく、改めて身の回りの環境や世界に目を向けるきっかけとなるようです。

このような出会いが、きっと新しい気付きや意欲的な学びへとつながるでしょう。



ポリビアの工芸品を手にする児童
＝中種子町坂井

協力隊OBらに
海外の文化学ぶ
中種子岩岡小
中種子町の岩岡小学
校は15日、海外の暮ら
しや文化を学ぶ特別授
業を開いた。青年海外
協力隊OBらに
全児童19人が日本との
違いを学んだ。
保健師としてポリビ
アに派遣された西之表
市の渡邊里美さん(48)
と、鹿児島県日輪文化交
流会長で鹿児島市に住
む申定姫さん(50)が
講師。渡邊さんは標高
3千メートルの暮らした
大変さや季節の違い、
申さんは韓国の学校生
活などを紹介した。
6年の浦口美波さん
は「意外と日本との共
通点もあると知った」。
1年の川下蓮翔君は
「あいさつも教えても
らい勉強になった」と
笑顔だった。(緒方隆)

テンさんへ
今日は、ありがとうございます。私も、大人
になったら中国やかこくに行きたくなりました。
作文を書くときに全部漢字で書くのは、
私たちの倍つかれるということにとでもひっ
くりしました。大人になったら、中国に行ける
ように、外国語や中国語を今のうち練習した
いで。もし、中国語が分からなくなったらテンさん
が教えてくださったことを思い出したいです。



土家田さんへ
今日はありがとうございます。コスタリカのことか
よく分かりました。食事のパーティーが少ないこ
とにびっくりしました。あいさつの時もあくして元
気も表現したり、日本とはせつせつから風しがい
てもびっくりしました。害虫もいはいいて、農
作物にも大きなひかいもあつたけど、自分達
で農薬をつくり工夫をして生活をしている
のだなと思いました。

(6)





協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～



(4) 中学校で…

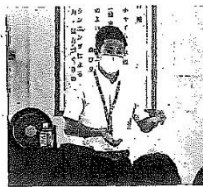
国際協力について、自ら考え、実行に移すこともできる年齢の中学生。

時には講話だけでなく、ワークショップを通して課題を見つけ、解決に向けて主体的に考える力を育成するための授業も実施しています。

そろそろ進路についても考え始める感受性豊かな年代の彼らにとって、海外協力隊経験者が歩んできた道や、故郷を離れ日本で生活する留学生の話は、異文化理解としてだけでなく、自分の生活や将来について見つめなおすきっかけとなるようです。



日本では当たり前だと思って過ごしてきたものが、ネパールやベトナムでは当たり前ではないことがわかりました。このことに感謝して生活していかないといけないなと思いました。



鹿児島市の仮屋慶一さん(28)のII写真IIはインド近くの島国モルデブで体育教師として2年間活動した経験を語り、「地球規模の視点で考え、身近な場所で行動を起して」と呼び掛けた。中国出身で鹿屋体育大学留学生の果子翔さん(25)は、母国の食文化などを紹

世界の体験談
興味いっぱい
錦江・田代中
錦江町の田代中学校で8日、青年海外協力隊OBと留学生による出前授業があった。1、3年生38人が、講師の体験談などを通して、世界とのつながりを学んだ。

自分が持っている思いこみで相手と接するのではなく、文化の違いや相手の考えを尊重して人と接していきたいと思いました。

(生徒感想 一部抜粋)

介した。
出前授業は真国際交流協会などをつくる実行委員会の事業。3年中原宗仁さんは「世界に目を向け、興味を持つて生活したい」と話した。(藤崎慎一)



留学生の先生の話聞いて、ほかの国の言葉であんな講演ができるのはすごいと思った。

私もほかの国の言葉を勉強してみたいと思った。

(生徒感想一部抜)



世界の中には日本のようにきれいな水を飲んで暮らすことのできない国があることを知りました。協力隊としてその国に行き、井戸を掘るのを手伝ったという話を聞きすごいなあと思いました。



協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～



(5) 事業実績

敬称略

区分	市町村名	学校名	JICA OB/OG (派遣国)	在住外国人 (出身国)	区分	市町村名	学校名	JICA OB/OG (派遣国)	在住外国人 (出身国)
大隅教育事務所	鹿屋市	寿小学校	平田 良幸 (ドミニカ共和国)	—	鹿児島市教育委員会	鹿児島市	牟礼岡小学校	津平 由紀恵 (ガーナ)	シン ジョンヒ (韓国)
	大崎町	大崎小学校	津平 由紀恵 (ガーナ)	米田 智美 (台湾)			中洲小学校	サナブリア 智子 (パラグアイ)	—
	南大隅町	第一佐多中学校	前原 無量 (スリランカ)	—			錫山中学校	深水 布由実 (マラウイ)	黄 敬蓉 (台湾)
	錦江町	田代中学校	仮屋 慶一 (モルディブ)	* 果子翔 (中国)			谷山北中学校	肥後 朋子 (ネパール)	* グェン ティ トウ (ベトナム)
	曾於市	岩川小学校	仮屋 慶一 (モルディブ)	* 果子翔 (中国)	鹿児島島教育事務所	十島村	悪石島小・中学校	長嶺 快多 (パプアニューギニア)	テン スーペイ (中国)
	曾於市	高岡小学校	前原 無量 (スリランカ)	—		いちき串木野市	生福小学校	仮屋 慶一 (モルディブ)	米田 智美 (台湾)
	肝付町	国見中学校	兒嶋 盛之 (ヨルダン・ネパール)	* 周杰 (中国)		日置市	永吉小学校	深水 布由実 (マラウイ)	—
熊毛教育事務所	西之表市	安城小学校	日高 かおり (ザンビア)	—	南薩教育事務所	南さつま市	万世小学校	後藤 まどか (フィリピン)	—
	中種子町	増田小学校	津平 由紀恵 (ガーナ)	* グェン ティ トウ (ベトナム)		枕崎市	枕崎中学校	竹原 辰昇 (インド)	—
	中種子町	岩岡小学校	渡邊 里美 (ボリビア)	シン ジョンヒ (韓国)		枕崎市	桜山小学校	近森 章 (ラオス)	—
大島教育事務所	奄美市	笠利中学校	西 星良 (タンザニア)	—		枕崎市	桜山中学校	桑山 昌洋 (ボツワナ)	角野 百合加 (中国)
	伊仙町	阿権小学校	矢野 夢子 (アルゼンチン)	* 朱 中嶺 (中国)	枕崎市	枕崎小学校	深澤 幸子 (ブルキナファソ)	—	
	天城町	天城中学校	矢野 夢子 (アルゼンチン)	—	北薩教育事務所	出水市	米ノ津中学校	仮屋 慶一 (モルディブ)	—
私立	—	三育小学校	桑山 昌洋 (ボツワナ)	出水市		江内小学校	近森 章 (ラオス)	—	
始良伊佐教育事務所	霧島市	竹子小学校	森重 千里 (ラオス)	—		長島町	平尾小学校	塚田 拓 (コスタリカ)	フォン ズリン (台湾)
		国分西小学校	仮屋 慶一 (モルディブ)	* 楊 沛豪 (中国)		さつま町	山崎小学校	塚田 拓 (コスタリカ)	—
		牧之原中学校若駒分校	肥後 朋子 (ネパール)	* グェン・ティ・ゴック (ベトナム)	霧島市	湧水町	吉松中学校	園中 秋葉 (キルギス)	—
		伊佐市	山野小学校	仮屋 慶一 (モルディブ)		—			

令和3年度実施：35校
(23市町村)



協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～



(6) 先生方の声 (一部抜粋)

【先生方が抱えている問題など】

- ❖ 交通の便が悪いため、国際交流イベントに興味があっても参加できない生徒がいる
- ❖ 国際交流をする機会が少ない
- ❖ 学校内で学習をする場合資料や教材が少なく、情報収集の手段が限られてしまう
- ❖ 実体験を語るができる人材が校内にいないため、生徒たちに提供できる情報が少ない
- ❖ 国際理解についての教育をその時だけの学びにならないようにするためにはどうしたらよいか
- ❖ コロナ禍により、イベント参加や学校へ講師を招くことが難しい

【授業を終えて…】

- ❖ 生徒と同世代の外国の子供たちの生活について知ることができた
- ❖ 相手のことや相手の国のことを理解しようとする姿勢が大切だと話してくださったので、生徒たちの今後の生き方につながる内容であると思った
- ❖ 外国語や社会の授業など外国について学ぶ機会はあったものの、一つの国について丸々一時間も実際に訪れた方や出身の方の話を聞くことは初めてであったためとても刺激を受けていた
- ❖ 講師の出身国や派遣国について事前学習に取り組んでいたこともあり、調べた中から疑問を持ったことについて講師に積極的に質問ができており、とてもよい機会となった



実行委員会構成団体



鹿児島県青年海外協力隊を支援する会
<http://www.kagojocv.com/>



青年海外協力隊鹿児島県 OB 会



公益財団法人鹿児島県国際交流協会
<https://www.kiaweb.or.jp>

「協力隊 OB と留学生が先生～見える・学べる・世界の国々～」事業 実行委員会

〒892-0816

鹿児島市山下町 14 番 50 号かごしま県民交流センター1 階 公益財団法人鹿児島県国際交流協会内

TEL : 099-221-6620 FAX : 099-221-6643 E-mail : kia@kiaweb.or.jp